

## 1年生のトウモロコシの皮むき

7日の給食の献立に「とうもろこし」がありました。給食の食材で使われるとうもろこしは、その殆どが缶詰ですが、旬のこの時期は生のとうもろこしを使った料理が出されます。この旬の食材の特性を生かして、トウモロコシの皮むきを1年生が生活科の学習の中で行ってくれました。皮をむきながら、子供たちは、トウモロコシのひげに気がきました。とうもろこしのひげの部分は、雌しべであり「絹糸」と呼ばれています。絹糸は粒の一つ一つから伸びているため、粒の数と絹糸と呼ばれるとうもろこしのひげは同じ数になります。このように1年生は体験しながら、学んでいきました。皮をむく前に、栄養教諭の二ノ村先生から、トウモロコシは皮をつけたまま茹でた方が甘いことなど、トウモロコシについて様々なことをクイズ形式で学ぶこともできました。実は、野菜ではなく穀物に分類されています。世界の三大穀物の一つである、とうもろこし。世界の三大穀物とは、米・小麦・とうもろこしをいいます。とうもろこしは夏野菜のイメージですが、穀物に分類されているのです。



そして、給食では茹でたトウモロコシを食べることができました。もちろん、1年生の丁寧で心のこもったトウモロコシは、甘くておいしかったです。

## プール開き

子供たちが楽しみにしていた、水泳の学習が始まっています。昨日7日(金)に、私から、次のような内容を校内放送で話しました(中略)。

「水泳の学習はなんのためにあるのでしょうか?一番大事なことは、自分の命を守るためです。日本は周りを海に囲まれていて、川も身近なところにあります。また、水害も多く、水とかかわることが多いのです。いざというとき自分の身を守るために、水に浮く・泳ぐという力を身に付けて、『帯西ブルーの心』を発揮して、自分の命を守って欲しいと思います。そこで水泳の学習で『注意すること』を話します。水泳は、一歩間違えると危険な学習にもなります。先生方は、みんなの安全のために、とても注意を払って指導にあたります。ですから、いつもの指導よりも、時として厳しくすることがあります。これは、みんなの命や安全を守るためです。みんなは、先生の指示を守って、安全に水泳学習に取り組んで欲しいと思います。水泳の学習は、1学期にしかできない、大事な学びのチャンスです。『水泳のきまり』を守りながらそして、『帯西レッドの心』を活躍させるためにも、『自分のめあて』をもって水泳の学習に臨んでほしいと思います。そして、自分のめあてが達成できるように頑張ってください。」



水泳は、普段使っていない筋肉も使われ、全身運動となります。それとともに生命にかかわる危険なこともあることを忘れてはなりません。特に体の具合の悪い時には無理をしてはいけません。ご家庭でも体調をしっかりとチェックしてプールカードへの記入をお願いします。